

Amazon Elastic Container Registry

Amazon Elastic Container Registry Public

AWS Black Belt Online Seminar

Solution Architect 浅野佑貴 2021-Dec





Agenda

- o Amazon Elastic Container Registry(Amazon ECR)の概要
 - コンテナワークロードの基本的なワークフロー
 - o Amazon ECR とは
- o Amazon ECR / Amazon ECR Public の使い方
- 主要な機能





コンテナワークロードの基本的なワークフロー

プライベートレジストリ



パブリックレジストリ





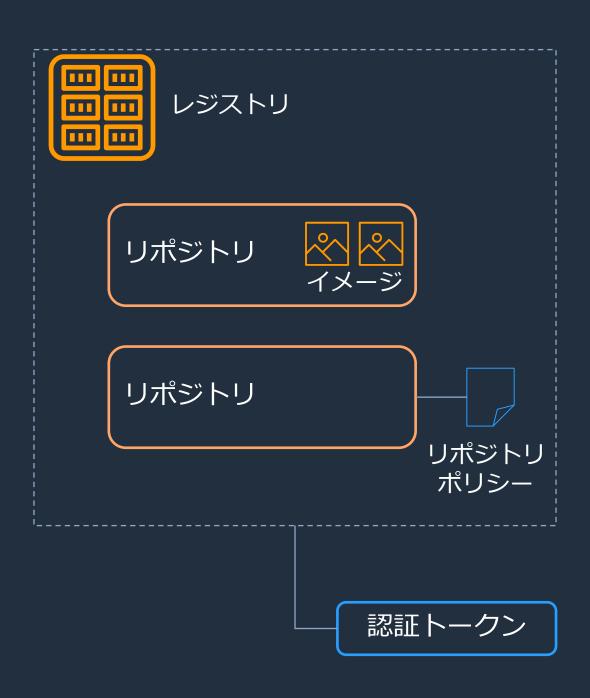
Amazon ECRとは



- 。 コンテナイメージレジストリのマネージドサービス
- Docker CLI コマンドを利用することが可能
- コンテナイメージ/アーティファクトはAmazon S3 に保存される
- サポートする形式
 - o Docker イメージ(v1,v2)
 - o Open Container Initiative (OCI) イメージ
 - o OCI 互換 artifacts



基本コンセプト



レジストリ

- AWS アカウントごとに用意される
- イメージを保存するためのリポジトリを複数作成可能
- Docker クライアントを認証して利用

。 リポジトリ

Docker イメージ、OCI イメージ、OCI 互換アーティファクトを保存

リポジトリポリシー

。 リポジトリとリポジトリ内のイメージへのアクセス権を制御

○認証トークン

○ IAM認証情報を利用して、レジストリに対して認証をする



サポートする2つのアクセスタイプ

- プライベートレジストリ
 - 利用する(pull・push等)には IAM ベース 認証が必須
- 。 パブリックレジストリ
 - Amazon ECR Public
 - 。 認証無しでもイメージのpullが可能
 - 公開されているイメージを検索可能
- Amazon ECR / Amazon ECR Publicそれぞ れでサポートされている機能が異なる

Uポジトリを作成

一般設定

可視性設定 情報

リポジトリの可視性設定を選択します。

プライベート

アクセスは IAM およびリポジトリポリシーのアクセス許可によって管理されます。

○ パブリック

イメージプルについて、パブリックに表示およびアクセス可能。

リポジトリ名

簡潔な名前を指定します。デベロッパーが名前でリポジトリの内容を識別できる必要があります。

925496135215.dkr.ecr.ap-northeast-

1.amazonaws.com/

最大文字数 256 のうち0 (最小文字数 2)。 The name must start with a letter and can only contain lowercase letters, numbers, hyphens, underscores, and forward slashes.

タグのイミュータビリティ 情報

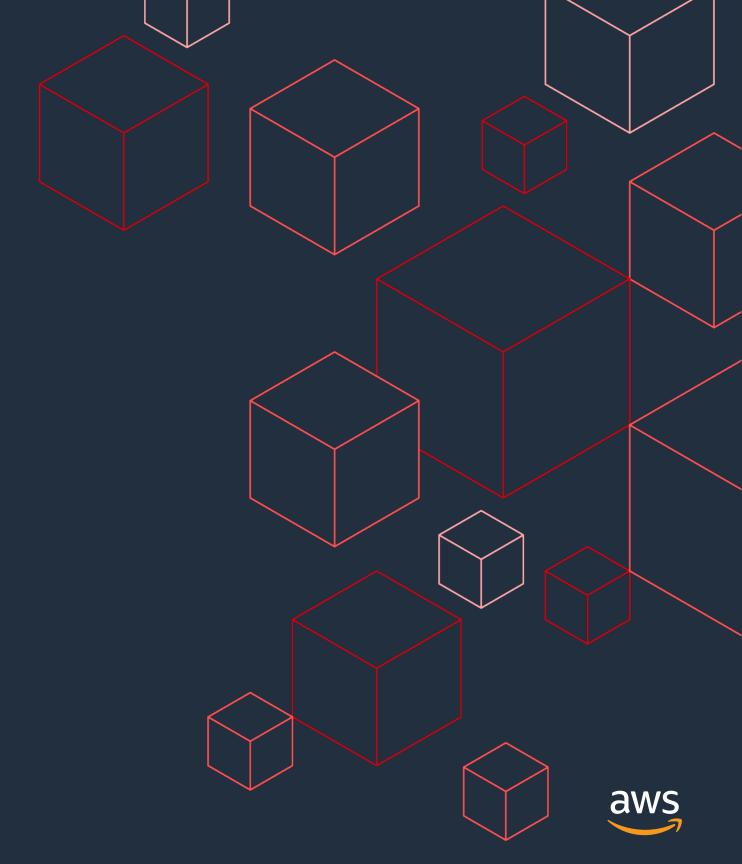
タグのイミュータビリティを有効にすると、同じタグを使用した後続イメージのブッシュによるイメージタグが上書きを防ぎます。タグのイミュータビリティを無効にするとイメージタグを上書きできるようになります。

(無効

(1) リポジトリが作成されると、リポジトリの可視性設定を変更することはできません。



Amazon ECR Amazon ECR Public の使い方



プライベートレジストリの利用例

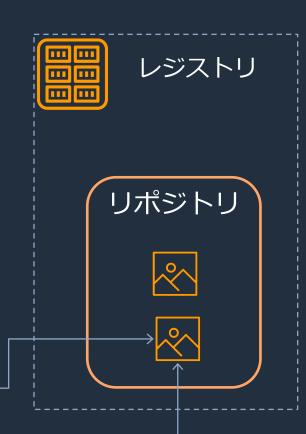
2

開発者

1. 認証トークンの取得とDocker クライアントを認証

\$ aws ecr get-login-password | ¥ docker login --username AWS --password-stdin ¥ 123456789012.dkr.ecr.<region>.amazonaws.com

- 2. イメージのビルド
- \$ docker build • •
- 3. イメージにタグ付け
- \$ docker tag <image> 123456789012.dkr.ecr.<region>.amazonaws.com/<image>:<tag>
- 4. イメージのpush
- \$ docker push 123456789012.dkr.ecr.<region>.amazonaws.com/<image>:<tag>





認証されていない利用者

\$ docker pull 123456789012.dkr.ecr.<region>.amazonaws.com/<image>:<tag>



パブリックレジストリの利用例

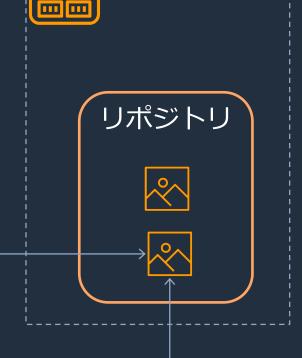


開発者

1. 認証トークンの取得とDocker クライアントを認証

\$ aws ecr-public get-login-password --region us-east-1 | docker login -- username AWS --password-stdin public.ecr.aws

- 2. イメージのビルド
- \$ docker build • •
- 3. イメージにタグ付け
- \$ docker tag <image> public.ecr.aws/<alias>/<image>:<tag>
- 4. イメージのpush
- \$ docker push public.ecr.aws/<alias>/<image>:<tag>



レジストリ



認証されていない利用者

\$ docker pull public.ecr.aws/<alias>/<image>:<tag>



Amazon ECR Docker Credential Helper

- o Docker Deamon向けのcredential helper
- Dockerクライアントからより簡単にECRを利用することが可能
- プライベートレジストリ/パブリックレジストリ共に利用可能

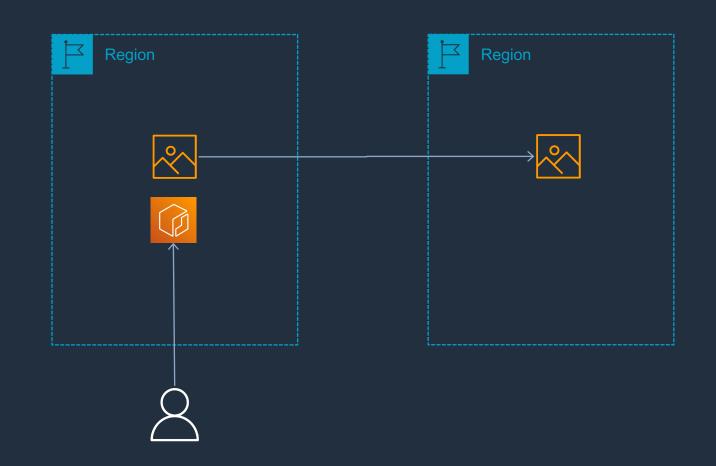
https://github.com/awslabs/amazon-ecr-credential-helper



主要な機能



- コンテナイメージを別リー ジョン・別AWSアカウントに レプリケーションすることが 可能
- 。 イメージをpushした際に自動 でレプリケーションされる
- 脆弱性の検出結果はレプリケーションされない



https://docs.aws.amazon.com/AmazonECR/latest/userguide/replication.html https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/cross-region-replication-in-amazon-ecr-has-landed-jp/



イメージの脆弱性スキャン

プライベートレジストリ

ECR に pushされたコンテナイメージの脆弱性の 検出をする

Basic scanning

- 検出対象:OSパッケージ
- スキャン実行: on push / マニュアル実行
- 追加料金なしで利用可能

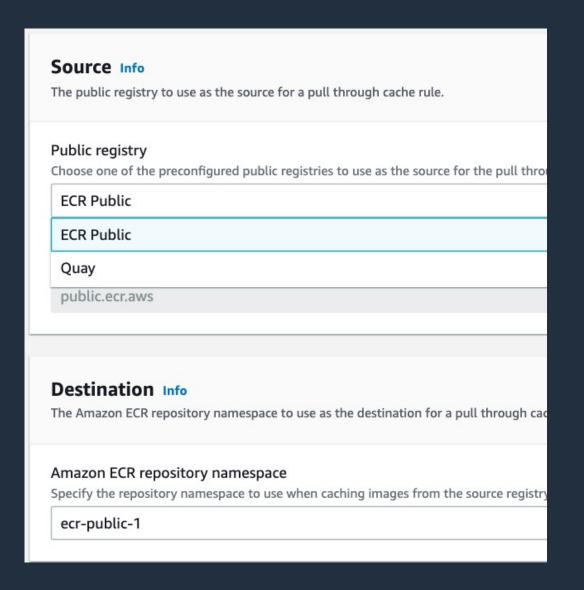
Enhanced scanning

- 検出対象:OSパッケージ、プログラミングライブラリ
- スキャン実行: on push / 継続的
- o Amazon Inspectorとの統合

Basic scanning Basic scanning allows manual scans and scan on push of images in this registry. This is a free service.	Enhanced scanning Enhanced scanning with Amazon Inspector provides automated continuous scanning. Inspector identifies vulnerabilities in both operating system and programming language (such as Python, Java, Ruby etc.) packages in real time.
Select which repositories will continuously ha	3
Continuous scanning filters Select which repositories will continuously ha Filters are wildcard (*) match on repository na Continuously scan all repositories	3
Select which repositories will continuously ha Filters are wildcard (*) match on repository na	Add filter anned for vulnerabilities on image push.



- パブリックレジストリのイメージをECR Private でキャッシュ
- 。 リモートレジストリと自動同期
 - 24時間以内に同期される
- 。 アップストリームのパブリックレジスト リとして ECR Public と Quay.io をサ ポート

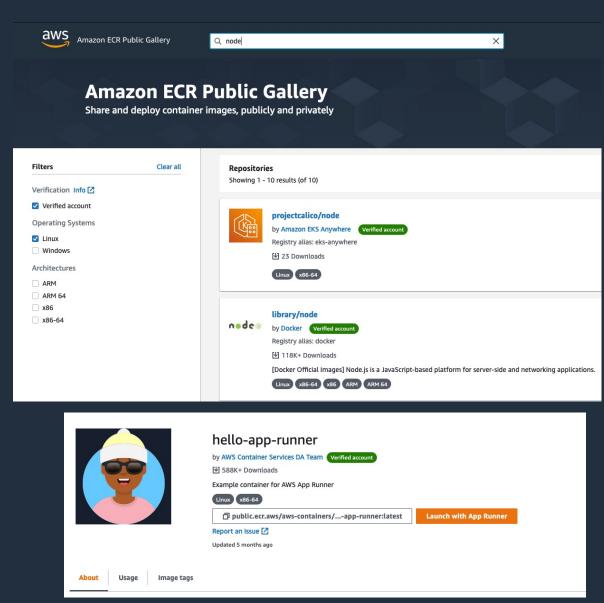


https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AmazonECR/latest/userguide/pull-through-cache.html



Amazon ECR Public Gallery

- Amazon ECR public で公開されているコンテナイメージを検索
- o Docker 公式イメージも利用可能
- AWS App Runner サービスを直接起動することも可能



https://docs.aws.amazon.com/AmazonECR/latest/public/public-gallery.html https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/docker-official-images-now-available-on-amazon-elastic-container-registry-public/

